

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和 6年 3月 20日

事業所名 こばんはうすさくら 塚教室 保護者等数(児童数) 34 回収数 30 割合

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	30				・広く整頓されていて、区分もわかりやすい。 ・広い安全なスペースだと思う。・広くて整理整頓されていて区分もわかりやすい。	・今後も継続して、広くて安全で整理整頓、清潔清掃を心がけて参ります。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	28			2	・沢山の素敵な先生方で有難いです。 ・特に不足に感じることはない。	・今後も職員配置も万全を期して、専門分野の研修を継続的に行います。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	30				・視覚的に理解しやすい環境だと思う。	・集团の中でも環境設定を行っています。・安心して過ごせるように個別に配慮を行っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	30				・きれいで明るくて良いにおいです。 ・清潔に保たれている。 ・お手洗いがとても清潔で、決め手の一つでした。	・空調管理、換気、消毒や、その都度使用した椅子、机おもちや、教材等の消毒を一つ一つ行っています。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	30				・面談でつたえたいニーズを計画に入れている。	・保護者の方のニーズやお子様の発達を大切に
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	30				・とても子供のことを理解して頂いたうえで、驚くほど良い案を出してくれています。	・専門分野の先生方が一人一人に寄り添って、支援しています。その都度会議も行います。常に質のある支援の提供を心掛けていきます。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	30				・とても子供のことを理解して頂いたうえで、驚くほど良い案を出してくれています。 ・ばっちり	・支援の前に、前日から当日迄、個別支援計画を確認して、課題のチェックもしています。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	29			1	・ばっちり ・毎回様々なプログラムをやってくれている。	・活動プログラムは毎月更新している。 ・カレンダーで管理されています。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	13			2	15 ・入ったばかりでまだ体験したことないので分らない。 ・通い保育園に通っている。	・保育園さんとのハロウィンやキッズキャラバンに参加しています
保護者への説明等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	30				・契約時やその都度説明があり良い。 ・契約時説明があった。	・契約時に行っています。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	30				・契約時説明があった。	・説明しています。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	16			2	13 ・ペアレントトレーニングは特に受けていない。	・実施している児童がいます。今後も、必要なご家族、ご希望者に行っていきます。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	29	1			・お迎え時、その都度、報告や評価があり、分かりやすい。 ・毎回様子を伝えてくれる。	・主にお迎え時にお話しています。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	29	1			・年3回程面談面談を行ってくださっている。	・いつでも相談を受け入れ可能なことを保護者様にお話して、予約表などもお渡ししています。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	6	6	6	12 ・入ったばかりで、まだ機会がありません。 ・保育園で十分な果たしていると思うので交流は求めている。 ・保護者同士の交流はどちらでもよいと思っています。 ・希望すれば面談してくれる。	・新型コロナウイルスが蔓延していたため、今後行っていきます。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	27	1			2 ・希望すれば面談してくれる。	・いつでも相談を受け入れ可能なことを保護者様にお話して、予約表などもお渡ししています。常にお声掛けも行っていきます。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	29	1				
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	24				6 ・ラインで発信してくれている。	行政HP、本部HP、に記載しています。
	19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	30					写真は他児の顔や氏名は伏せられている。
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	21				9	施設内にマニュアルがあります。 災害避難訓練も行っています。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16	1			13	・年に数回行っています。
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	27	2			1	・とても楽しみにしています。行きも帰りもご機嫌フィードバックされる支援内容がとても楽しそう
	23 事業所の支援に満足しているか	30					・とても満足です。いつもありがとうございます。2年通わせていただいておりますが、風邪でも行なう程一年お休みもしていません。 ・今後もより良い支援を心掛けます。いつもご協力ありがとうございます。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 こぼんはうすくら 堺教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	1		
	2 職員の配置数は適切であるか	6		常に配置基準は満たしています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	1	・場所、時間、スケジュールの構造化を行っています。 ・入口にロッカーがあり、荷物を入れてから遊ぶようになっている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		・個々の児童の特性に配慮した環境調整を必要チームで相談して行っています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5			
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	3	・非常に評価をいただいており、改善点があらればすぐに行っています。 ・職員のみだけでなく管理者、児発管もよく保護者へ声を掛けて行っています。	事業所について聞く機会が本紙(保護者用)しかないので計画変更の際に聞いています。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	1	5	・毎年出しています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	2	・外部から来てもらっています。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6			
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		S領域について他日常の様子、検査結果を総合的にアセスメントを行っています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	1		
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6		個別支援計画の目標の個々のカードを作り、毎支援前に確認しています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	6		月間のスケジュールを作り、スタッフで担当制にして立案しています。	来年度から公表、ライン等で配信予定です。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		S領域で、常に飽きない楽しいプログラムを提案しています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	1	子供がどのように理解しているにか常に配慮した支援を行っています。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	3	個別課題の準備、担当者、集団の流れをしっかり打ち合わせしています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	4		今後は、その日の振り返り心掛けたい。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			
関係機関や保護	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6			
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	1	児発管が基本参加しています。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	1		
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6			
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4	2		
25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	2	MSPA心理面談評価による支援の度合いを共有しています。		

保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	2		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	2		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	5		*参加していない。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			*その日の様子を、帰る際、保護者に伝えていきます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	3		*
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6			*保護者様のニーズを大切にガイドラインに沿った内容で作成し、説明と同意を得ています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			*相談希望には常時対応し、困りごとなどに対する助言や支援を行っています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	3		*新型コロナウイルス蔓延により行っていない
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	2		*行っています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6			*個人情報のある電子ファイルにはパスワードを付けています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	2		
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	1	
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6			
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6			
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6			